

もったいない大作戦アンケート結果(全校)

全校の残菜平均	主食	おかず	牛乳
9月の16日～22日分の残菜平均	15人分	19人分	2人分
もったいない大作戦期間中の残菜平均	8人分	15人分	ほぼ0

頑張りました！

Q1. あなたは、もったいない大作戦で※食品ロスについて知ることができましたか？

※食品ロス(まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のこと)

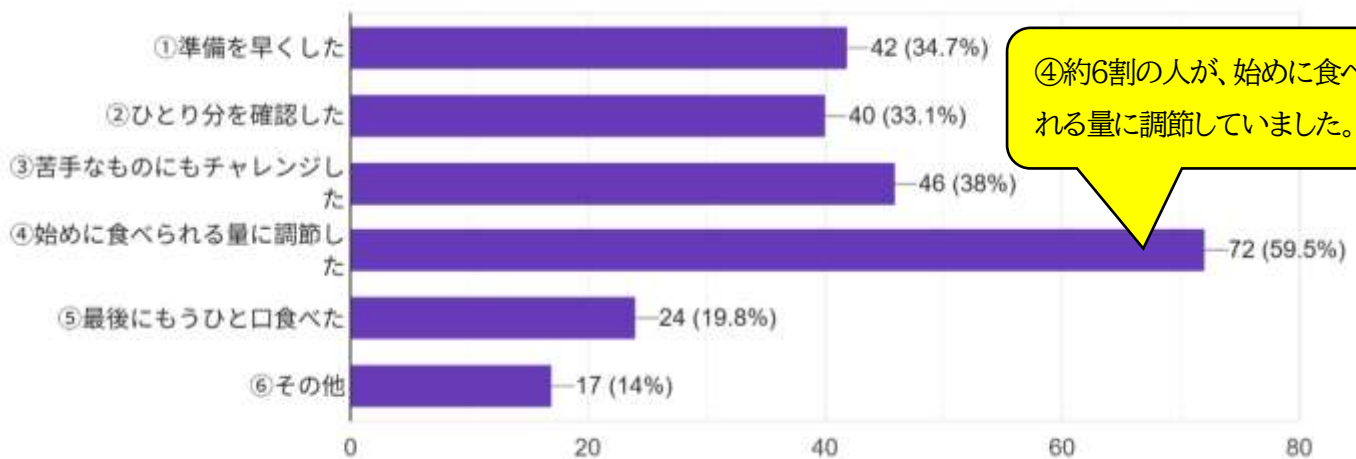
はい	97.1%
いいえ	2.9%

Q2. あなたはもったいない大作戦でいつもより給食や家での食事を残さず食べることができましたか？

はい	89%
いいえ	11%

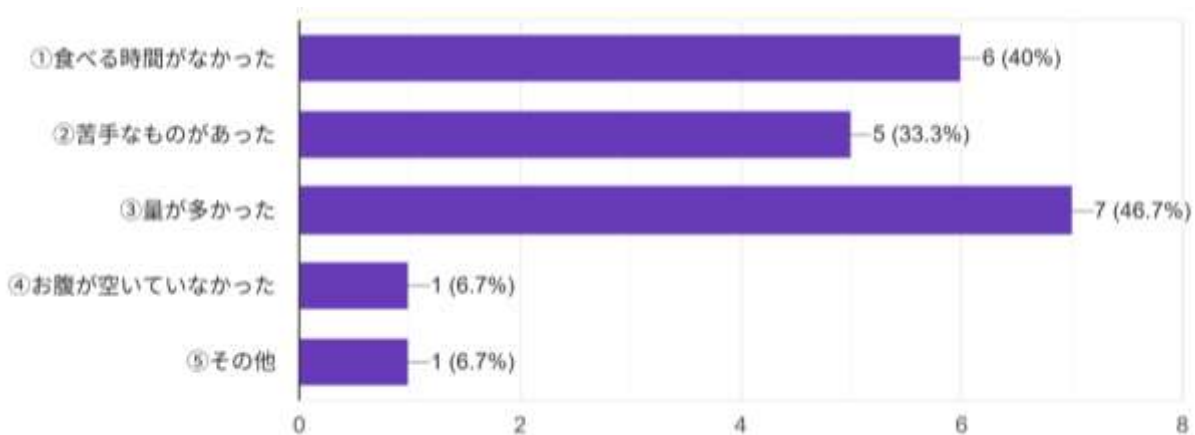
4割の人が、①食べる時間がなかった。約5割の人が、③量が多かったと答えています。適量がポイントですね。

Q3. Q2で①はいを選んだ人に聞きます。どんな工夫をしましたか？当てはまるものを全部選んでください。



④約6割の人が、始めに食べられる量に調節していました。

Q3-2 Q2で②いいえを選んだ人に聞きます。その理由を教えてください。当てはまるものを全部選んでください。



Q4. あなたは、これからも※食品ロスを減らしていきたいですか？

はい	99.3%
いいえ	0.07%

Q5. もったいない大作戦に取り組んでみた感想を聞かせてください。

- できるだけ残さないように食べた。
- “もったいない”を意識して取り組みできた。
- いつもとあんまり変わらない。
- 良いと思った。
- 食べ物をもっと大切にしていこうと思った。
- 毎日残さず食べられて良かった。
- この期間だけではなく、これからも食品ロスをなくしていきたいと思った。
- みんなが意識すれば、食品ロスを減らせることがわかりました。
- 特にいつも通りでした。
- いつも残しているものでも工夫すれば食品ロスを減らせることがわかりました。これからも食品ロスを減らしていきたいです。
- 「まだ残っているからお代わりをできる人はしてね」と呼びかけしたとき、お代わりするために何人も出てきてくれて嬉しかったです。
- いつもより沢山食べたからお腹が痛くなった。
- 沢山食べるのはきつかった。
- これからも残さず食べられるように工夫したい。
- 一人ひとりが意識して少しでも食べれば“もったいない”が減るから、これからも苦手なものなど少しでも挑戦して、食品ロスを減らしていく努力していきたいと思った。
- 食品ロスについて知れて、残さず食べる大切さを学びました。
- 残る量が減っていて、残さずに食べるようにしていた。次回も頑張りたい。
- ”もったいない“を無くす努力をしようと思うことは、“もったいない大作戦”をやる前はなかったので、自分からなくそうと思えるようになって良かったと思いました。そして、これで終わらずにこれからも“もったいない”を減らしていきたいと思いました。”
- 心なしか、いつもより給食の残りが少なかった気がする。
- ロスを少しずつでも減らしていけるように、これからもたくさん食べる！残すことの意味を理解する。
- 残さず食べた。
- クラス全体で、“もったいない”が減っていたと思うので良かったです。
- 自分が一つ大人になったような気がした。
- クラスのみんなも“もったいない大作戦”のためにおかわりして、食品ロスを減らすために頑張っていてすごかったから、自分もお代わりして食べ残しをなるべく減らして、温室効果ガスの排出を減らしていきたいと思った。
- いいと思った。
- しっかりと自分で立てた目標を達成することができた。これからも苦手なものをしっかりと食べられるようになりたい。
- 私は、牛乳が苦手であまり飲んでいなかったけど、“もったいない大作戦”で苦手な牛乳にもチャレンジすることができました。また、いつもより、ご飯を残さないで食べようと心がけ、あまりご飯を残さないようにできました！これからも、残食を減らすために苦手なものにもチャレンジしていきたいです！
- “もったいない大作戦”に取り組んで、食品を残さず食べることの大切さを改めて学べた。
- いつもよりたくさん食べることができたし、残菜も減らせてよかった。

無理しなくてもいいですよ！

- “もったいない”を考えて行動することができた。
- ごはんが美味しかったです。次の“もったいない大作戦”もがんばりたいです。
- 普段から残さないようにしているので、あまり変わらなかった。
- みんな自分からお代わりできていて良いと思いました。
- “もったいない大作戦”に取り組んで、苦手な野菜も少し食べられるようになったから良かった。
- happy
- 残食を残さないようにすることで、無駄をなくすことができる。この期間に限らず継続していくことが大事だとわかった。
- 完食できた日もありましたが、放送委員だったり、体調が悪かったりして食べられない時があったので、最初から食べられる量だけ取る等、工夫をして食品ロスを減らしていきたいと思いました。
- 自分が最初に食べられる量をよそい、多かったら減らして、足りなかったらお代わりすれば、残さず食べられると思います。そうすれば食品ロスは減少できると思います。
- 残さず食べることを意識していたからか、残している人が少なかった。食品ロスを減らすのに少しでも協力できたのなら嬉しい。
- これからも、“もったいない大作戦”を行ってほしい。
- 食べ物を残さず美味しく食べることが大事だと感じることで良かった。
- もう少し食べられたと思う。
- いっぱい食べた。
- いつも通り、残さず食べられて良かった。
- 自分の分をしっかりと食べられたので良かったです。
- “もったいない大作戦”でやっていることはとても大切だから、これからも食品ロスが増えないように続けていきたいと思いました。
- 残食がいつもよりも減って良かったです。
- やっぱり、“もったいない大作戦”のような取り組みはずっとやるべきだと思います。
- こういう小さな行動を、ひとり一人大事にして習慣づけられるといいですね。
- 食品のありがたみが分かった。
- 苦手なものを残さずに食べられて良かったし、準備も早くて時間が沢山とれたから、残さずに食べられました。だから、これからも残さずに、1人分の量を食べていきたいです。
- 苦手なものは少しだけ食べるか、好きな人に行くようにして、自分の分はしっかりと残さず食べた。
- いつもよりも多く食べることができた。
- 普段気にせずに食べていたけど、今回のことを通して食品の大切を知ることができたので良かったです。
- いつもより残った食べ物が少なくて、良いと思った。
- 身近に簡単にできることなので今後も残さず食べることを意識していきたい。(残さず食べることが当たり前なんですけどね)
- いつも苦手なものは残していたけれど、食品ロスは良くないことが分かり、しっかりと食べることができて良かった。
- 毎年やっているけど、改めて食品ロスについて知ることができました。
- もっと多く食べられるようにしたい
- “もったいない大作戦”中、いつもよりみんな給食を残してなかったから、みんな凄いと思った。

- 食品ロスについて詳しく知ることができた。
- 自分のご飯はしっかりと残さず食べる。
- いつも残さず食べることを意識していたけれど、今回の“もったいない大作戦”で、よりしっかり意識してみました。準備を早くし、食べる時間を増やすことで給食の残りも減ったし、より楽しんで給食を食べられたように感じました。なので、これからも、みんなで協力し給食準備を早くすることで、もったいないが減るよう工夫していきたいです。
- 一番の目標は、クラスで全て残さず食べることです
- “もったいない大作戦”に取り組んでみて、初めよりかは残食が減ったと思うし、お代わりをするのも増えたと思います。これからも残食を減らせるように、一人分をしっかりと食べて苦手なものにもチャレンジしていきたいなと思いました。
- 食品ロスのことなどを意識して、給食のときに自分が完食しきれぬ量にするなど、いろいろ工夫していつもより、残されてしまう給食の量を減らすことができたと思います。
- “もったいない大作戦”が行われたことで、いつもより残さない！を意識したことで期間中すべて(自分)の給食を食べることができました。なので、次の“もったいない大作戦”では、すべて食べる+おかわりすることを目指そうと思いました
- 普段、給食で好きなものを多く取ってチャイムが鳴り終わった頃に食べ切れていないということがよくあったので、今回の“もったいない大作戦”で、好きなものも苦手なものも食べれるくらいに調整する、ということができて、いつもの給食でもそうやって調整できたら良いなと思いました。
- みんなで協力することによって、食品ロス削減に少しでも貢献できるということが分かりました。
- 時間が足りなかったときや量が多かったときに、私は何度か残してしまったので給食準備を早くしたりして、なるべく残さないようにしていきたいなと思いました。”
- 美味しかったです。
- いつもよりも食べ残しを減らすことを意識できたので良かったと思う
- すごく良い取り組みだと思いました。
- 地球のためにもみんな幸せハッピー☆
- 時間がなく全部食べられなかったのももったいないなと思いました。
- これから、少しでも早く食べられるようにしたいです。
- このまま“もったいない大作戦”に取り組もうと思います
- 残さず食べ、捨ててしまうものを無くすようにする大切さを知りました。
- 世界では、ご飯を食べられずに餓死しちゃう子もいるから、この取り組みをもっと増やしてほしいです。
- 普段から自分の食べられる分だけを買ったりして、ロスを減らしていきたい。
- 食品ロスを減らすことでどういうメリットがあるのか、逆に食品ロスを減らさないままだったらどういうデメリットがあるのかを改めて感じました。これからも、苦手なものでも一口は挑戦していきたいと思いました。
- いつもより残す量が減ったと思ったので、これを毎日続けたいなと思いました。これからも自分ではできるだけものを残さず食べていきたいです。
- 身近なところで食品ロスは減らせる、ということを知れてよかった。
- 残ってしまうものとそうでないものの差が大きかったので、好き嫌い関係なく平等に食べられたらいいなと思います
- 普段よりも食缶の中身が減っていて、自分たちが食べ切れる量をしっかりと食べれば、もっと食べたい

人が食べてくれるから自然と減って、自分も無理せず食べられていいなと思った。給食を作ってくれている人や、犠牲になった命のことを思って食べたおかげで、いつもよりも給食が美味しく感じた。

●嫌いなものでも、必ずよそることが出来た。これからは、牛乳を飲めるようにしたい。

●私はいつも食べ切れる分だけもらっていますが、増やし過ぎで時間内に食べきれなかったり、準備が遅い人などが多かったです。なのでクラス全体を見るとそこまで変化はないと感じました。次回の“もったいない大作戦”ではもっと食品ロスのないようにクラスで協力していきたいです。

●“もったいない大作戦”を取り組んでみて、食べられるようだけよそってもらい、苦手な野菜にもチャレンジしました。この取り組みが終わっていても残さず苦手なものにもチャレンジしようと思いました。

●“きれいに食べること” 食べられるのに捨ててしまうのはすごくもったいないことだなと思うし、良くないことだなと思います。これからも食品ロスを減らしていけたらいいなと思います。

●いつもより給食の残っている量が少なかった気がする。

●少しでも苦手な食べ物に挑戦して、なるべく残さないことが大事なんだなと思いました。

●いつもよりかも早く食べられました。これからも1人分を残さず食べようと思いました。

●“もったいない大作戦”を実施したことによって、少しは食品ロスを減らせたと思いました。

●いつもよりも、意識的に給食を食べることが出来た。

●いつもと変わらず残さず食べることができたけど、食べられそうなものは少し増やしたりして、まだ食べられるのに捨ててしまうという食べ物を減らせたと思う。

●少しでも減らせたので良かったと思います。

●いっぱい食べました。

●いつもよりクラス全員が残飯を減らそうと協力していたので、ほとんど完食することができ、達成感があった。

●自分が立てた目標を達成することができたので良かったです。

●いつもよりは残さずに食べるということができ、苦手なものも1日だけだけど完食することができたので、これからも少しずつ意識して食べられたらと思います。

●1日だけ残してしまった日があり、自分が食べられる量を確認できていないということだから気をつけようと思った。

●“もったいない大作戦”で普段よりも食品の大切さを感じました。

●自分の食べ残しについて考えられる期間でした。これからも食べ残しを少なくしていきたいです。

●ちゃんと食べられてよかった。

●楽しい。

●”もったいない大作戦だからしっかり食べよう！”と思い、一人分を食べ切りました。“もったいない大作戦”は終わってしまいましたが、これからも1人分を残さず食べたいと思います。”

●“もったいない大作戦”によっていつもより食べられたので、良かったです

●ごちそうさまでした。

●いつもよりたくさん食べられるようになって、フードロスに貢献できたと思います。

●食品ロスが減って、良かったと思った。これからもできるだけ減らしていきたい。

●楽しかった。

●大変でしたが、残さず食べられたので良かったです。

●思っていた以上に、残された物が少なかったです。

●少し面倒くさかった。

- 全部食べることができた。
- 食べ物の大切さがよくわかった。
- 残さず食べた。
- 残飯をこれからもなくさないようにしていきたい。
- 食べ物を残さない喜びを感じることができました。
- 意識して取り組むだけで、残飯が大きく減って驚きました。これからも1人1人の自覚と感謝の気持ちを持って給食を食べていきます。
- 美味しかった。
- いつもよりも食べられて良かった。
- 食べられないものは、始めから少なめに、食べられる人に譲ったりして、工夫して食品ロスを減らすようにしっかり食べることができました。
- 食べ物大切さを知れた。
- 食べきるのが大変でした。
- 少しでも苦手な食べ物を食べられたので良かったです。
- 美味しいものを食べることは、健康にもコスパもいい！
- 1人分はしっかり食べ、バランス良く食べることができたので良かったです。
- クラスの目標にもあるように、みんなで協力して減らすことができました。
- いつもより、苦手なものも頑張って食べることができて、一週間全部完食することができた。これからも続けて、残食を減らしていきたいです。
- クラスの残食が思ったよりも減って、嬉しかった。
- みんなで協力して“もったいない”を減らすことができた。これからも続けていきたい。
- 普段残されているものの現状を知り、取り組むことができて良かったです。
- 食品に対して敬意を持てるようになった。
- 食品ロスのことについて知り、社会に貢献できるように、食べ物を残さないようにしたいと思います。
- めっちゃ食べた。

“もったいない大作戦”では、横川中の普段の給食の食べ残しの状況から、給食での食品ロスの削減のために、クラス目標と個人目標をたて、取り組みました。

各クラスの目標

- ◆1年1組 好き嫌いをなるべくせず、一人分をしっかり食べよう！
- ◆1年2組 クラスで協力して、一人分をしっかり食べて、残食をなくそう！
- ◆2年1組 苦手なものにもチャレンジして、もったいないを減らそう！
- ◆2年2組 苦手なものを食べられるようにして、もったいないを減らそう！
- ◆3年1組 牛乳や汁物は1人分をきちんと飲む！野菜食べる！
- ◆3年2組 食べられないものは、食べたい人にあげて、クラスで協力しましょう！

“もったいない大作戦”での、皆さんの取り組み、本当によく頑張りました。でも、これで終わりではありません。何人もの人が感想で書いているように、“もったいない大作戦”をきっかけに、これからも、“もったいない”の心を大切に、食品ロスを減らす行動を続けていしましょう。一人ひとりの小さな心がけが、未来の地球を守ります。